

## 令和7年度岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会 議事概要

- 1 日 時 令和7年12月17日(水) 14時～15時30分  
 2 場 所 県庁19階 会議室・zoom  
 3 出席者 委員13名、事務局4名

### 岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会委員名簿

任期:令和7年4月1日～令和9年3月31日

所属	役職	氏名	備考
岐阜県総合医療センター	腎臓内科部長	村田 一知朗	日本腎臓病協会 慢性腎臓病対策部会岐阜代表
岐阜県医師会	常務理事	佐藤 まゆみ	岐阜県医師会
岐阜大学医学部附属病院	腎臓内科 特任教授	安田 宜成	腎臓病専門医
岐阜大学医学部附属病院	糖尿病・内分泌内科学 教授	恒川 新	糖尿病専門医(オンライン) 岐阜県糖尿病対策推進協議会
大垣市民病院	副院長	傍島 裕司	腎臓病専門医・糖尿病専門医 岐阜県糖尿病対策推進協議会
岐阜県薬剤師会	会長	棚瀬 友啓	岐阜県薬剤師会代表
岐阜県看護協会	会長	青木 京子	看護師会代表
岐阜県栄養士会	会長	長屋 紀美江	栄養士会代表
特定非営利活動法人 岐阜県腎臓病協議会	会長	田中 和博	患者代表
全国健康保険協会岐阜支部	保健師	作倉 かおり	医療保険者代表
体育健康課	課長補佐	小西 加奈	学校保健代表
岐阜市 南保健センター	保健師	後藤 久美子	市町村保健師代表
飛騨保健所	所長	加納 美緒	保健所長会代表 (オンライン)

#### 事務局

岐阜県健康福祉部 保健医療課健康推進室	課長	小山 貴広	
	室長	丹羽 員代	
	係長	上野 尚哉	
	主任技師	梅田 恵理	

## 4 内容

### 1) 報告

#### (1) 岐阜県における慢性腎臓病対策及び関係団体の取組みについて

- ・資料により説明。
- ・腎臓病療養指導士取得に係る費用軽減のために、病院での研修受講について提案あり。

#### (2) ヘルスプランぎふ21推進会議の報告について

- ・資料により説明。意見なし。

### 2) 意見交換

#### (1) 情報提供：岐阜県におけるCKD認知度向上のための取組みについて

- ・資料により説明。

#### (2) 意見交換：健康無関心層を取り込む普及啓発の実施について

#### 【ゼロ次予防という考え方について】

- ・ゼロ次予防という考え方は大変重要であると認識した。
- ・CKD対策におけるゼロ次予防として、減塩が重要である。飲食店や外食産業と連携した減塩対策が行えると良い。

#### 【普及啓発月間の設定及び関係機関 MIX での普及啓発（イベント開催）について】

- ・月間の設定について反対意見なし。
- ・ショッピングモールは無関心層も多く、自然と啓発に触れられる場として効果的。
- ・子供向けのコンテンツを入り口に大人への啓発につなげる方法が有効ではないか。
- ・ベジチェックや塩分測定等体験型のブースや、臓器パズルや塗り絵コーナー等子供向けの体験型のブースが集客に有効であると考えられ工夫が必要である。
- ・お薬手帳やクレアチニン値の持参があると、専門職による個別助言が実施できる。事前の案内等を検討いただきたい。
- ・イベント情報はマスコミも活用してPRしていくと良い。

#### 【今後の取組への提言】

- ・ショッピングモール等での大規模イベントは継続して実施することで認知度が積み上がる。年1回以上の開催が継続でき、県下全域で実施できるように連携協定を活かした体制整備がすすめられると良い。
- ・イベント等で啓発資材の配布を行う事はできるが、適切な資材の確保が予算面で困難な状況がある。専門医協力のもと資材作成や県からの資材提供があると良い。
- ・健診未受診で重症化するケースは自営業者に多い。税務署と連携した健診受診勧奨が有効ではないか。
- ・CKD重症化予防として受診勧奨数が増加する中で各保険者の課題・困難感について共有し、その改善策を議論することが必要。
- ・医療機関により治療管理に差があり、管理不良のため重症化するケースを減らす必要がある。専門医とかかりつけ医の連携が重要だが、専門医が不十分の地域もある。かかりつけ医のための診療フローチャートやCKD医療連携マニュアルの周知と活用、大学病院の専門医を活用していけると良い。